

キリシタン語学入門

岸本恵実・白井 純 編

2022年3月25日刊行予定 定価 2,750円 (本体 2,500円+税 10%)

B5判・並製・カバー装・168頁(予定)+カラー口絵 ISBN978-4-8406-2245-5 C1080 ¥2500E

本書の特長

① キリシタン語学の入門ガイド

16・17世紀、信長・秀吉・家康の生きた時代、カトリックの日本宣教のために作成されたキリシタン文献。日本語の歴史を明らかにするこのキリシタン文献の最新研究をふまえて、平易に解説。研究・教育でキリシタン語学に関心のある人々が座右に備えるべき入門ガイド誕生。研究上の手引きとしてだけでなく、大学生・大学院生に指導する際の手引きとしても有用。

② 国際的・学際的な研究をふまえた最新解説

宣教師たちの使用言語であるポルトガル語・スペイン語とラテン語、および日本以外の宣教地域の言語を視野に入れた、Missionary Linguistics(宣教に伴う言語学)の資料として、国際的・学際的な研究がすすむキリシタン文献。その豊富なエッセンスを、13名の執筆者が最新研究をふまえ、平易に解説する。

③ 理論編で基礎知識を身につけ、実践編で文献を読み進める

概説と最新の研究成果を紹介した理論編と、個々の文献の扱い方を学ぶ実践編の2部構成。相互に参照しながら実際に文献を読み進めることで、大学生・大学院生が研究テーマを見出し、レポートや論文の執筆につなげられるように構成。キリシタン文献の実例を挙げ、実際に読みすすめる。

④ 充実の付録・コラムと豊富な図版

カラー口絵など、多数の図版を収録。くわえてキリシタン語学に関わる重要な用語に語句解説を加える。多分野にわたるコラムや、手もとに置いて役に立つ付録も充実。

キリシタン時代の文語・口語を知る教科書、誕生!

理論編で基礎知識を習得し、実践編で文献を読み進め、豊富な図版・付録・コラム・用語説明で理解を深める、豊潤な言語学入門

キリシタン語学入門

岸本恵実・白井 純 編

(大阪大学准教授) (広島大学准教授)

2022年3月25日刊行 定価 2,750円 (本体 2,500円+税 10%)

B5判・並製・カバー装・168頁(予定)+カラー口絵 ISBN978-4-8406-2245-5 C1080 ¥2500E



八木書店

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-8
Tel:03-3291-2961 / Fax:03-3291-6300 pub@books-yagi.co.jp https://catalogue.books-yagi.co.jp/

【予約受付中】刊行次第、お届けいたします。ご注文は下記にご記入の上、最寄りの書店か、または小社までお申し込み下さい。

申込書	岸本恵実・白井 純 編 八木書店刊 2022年3月25日刊行予定		取扱店(番線印)
	キリシタン語学入門 [] 冊		
	ISBN978-4-8406-2245-5 C1080 ¥2500E 定価 2,750円 (本体 2,500円+税 10%)		
	お名前(ふりがな)	TEL	
ご住所	FAX	E-MAIL	

カラー口絵
本書を使われるかたがたへ 岸本恵実・白井 純

理論編

- 1. キリシタン文献とその歴史 岸本恵実
- 2. 研究史 白井 純
- 3. キリシタン時代の文法書 黒川茉莉・豊島正之
〔コラム〕実務家としてのロドリゲス 岡美穂子
- 4. 印刷技術 白井 純
- 5. 日本語学の枠組みを超えて 岸本恵実
〔コラム〕東西コスモロジーの出会いとキリシタン文献 平岡隆二

実践編

- 6. キリシタン語学書を知る
- 6.1. 日葡辞書 中野 遙
―日本語・ポルトガル語の対訳辞書―
- 6.2. 落葉集 一定訓に基づく漢字表記の整理― 白井 純
- 6.3. 日本大文典・日本小文典 一通事ロドリゲスの文法書― 豊島正之
- 6.4. 羅葡日辞書 岸本恵実
―ラテン語・ポルトガル語・日本語の対訳辞書―
- 6.5. 天草版ラテン文典 黒川茉莉
―イエズス会標準ラテン文法の日本語対応版―
- 6.6. ドミニコ会 コリヤード文典 岩澤 克
―イエズス会とは異なる視点から編まれた文法書―
〔コラム〕イエズス会とドミニコ会
- ―ふたつのローマ字表記体系の差異が示すもの― 山田昇平

- 7. キリシタン文学書・宗教書を知る
- 7.1. 日本語ローマ字本(口語)とCHJの使い方 平家物語
―口語訳された『平家物語』― 川口敦子
- 7.2. 日本語ローマ字本(文語) サントスの御作業 白井 純
―写本と活字本の比較からみえるもの―
〔コラム〕キリシタン文献・ローマ字本の分ち書きについて 千葉軒士
- 7.3. 日本語国字本(1) どちらなきりしたん 白井 純
―日本で4回出版されたカトリック教義の基本書―
- 7.4. 日本語国字本(2) ぎやどべかどる 折井善果
―“退悪修善の道理”を説くキリスト教修徳書―
- 7.5. 写本 バレト写本 川口敦子
―日本語訳された福音書・聖人伝など―
〔コラム〕キリシタン語学研究の今後 丸山 徹

- 8. キリシタン版を読んでみる 白井 純・岸本恵実

付録

- キリシタン文献へのアクセス方法 岸本恵実・白井 純
- 参考文献 岸本恵実・白井 純
- ポルトガル語・スペイン語・ラテン語の調べ方 豊島正之・折井善果
- 仮名・ローマ字綴り対照表 千葉軒士・山田昇平
- 仮名字体一覧 白井 純
- 索引

理論編

第1部 理論編

4. 印刷技術

4.1. キリシタン版と活字印刷

4.1.1. 活字印刷の歴史

キリシタン版 (Jesuit Mission Press in Japan) はすべて西洋式金属活字プレス印刷術 (typography) によって出版された。中国を起源とする活字印刷術は15世紀半ばにドイツのマインツでグーテンベルク (Johannes Gutenberg, 1400?-1468) によって改良されてベネチア、パリ、ローマ、ケルン、アントワープなどのヨーロッパ各地に急速に拡大し、15世紀後半には300都市の1,200を超える印刷所がインクナブラ (incunabula: 挿籃期活字本) を出版したが、日本におけるイエズス会の活字印刷術は、ヴァリニャーノの起案した天正遣欧使節がヨーロッパから活字印刷機とローマン体ラテンアルファベット活字および前期国字本の仮名漢字活字を持ち帰ったことにより1590年頃に始まった。これは朝鮮式銅活字印刷術と並んで、日本における最も早い時期の活字印刷の実践である。但し、活字はキリシタン版弾圧に伴いマカオに持ち出された後、行方不明となった。

*インクナブラ: インキュナブラともいい、15世紀の活字本をいう。黎明期の活字印刷本についてはCarter (2002)、Werner (2019) が詳しい他、国立国会図書館ウェブサイト「インキュナブラ 西洋印刷術の黎明」がカラー画像多数で理解しやすい。

4.1.2. 活字印刷の技法

西洋式金属活字プレス印刷術は、活字製作、組版、インク、用紙、印刷、校正、裁断、製本などの様々な要素から成り立っている。金属活字は、①活字父型 (punch) を堅い金属棒から削り出し、②父型を柔らかい金属棒の側面に打ち込んで母型 (matrix) を作成し、③母型を鑄造機 (handmould) に固定し、④鉛とスズを主成分とした鉛合金を母型に押し込み、⑤冷え固まったら枠を外して母型から取り出す工程によって制作され、1文字1文字の活字が完成する (図1)。

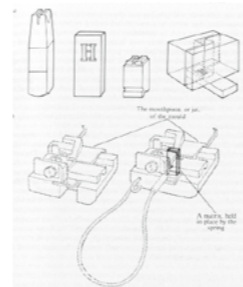


図1 金属活字の制作方法 (Gaskell, 1972より転載)

組版 (composition) を構成し、並べた活字の外周を縛り、字面を上向きに固定し、行間にインテル (interline) をあけて、フォリオ (folio)、四折本をクワルト (quarto)、八折本をセクト (secto) とする。また、ローマ字国字本もこれに基づく。重ねた用紙に含ませたインクを塗り、用紙を乾燥機 (drying press) で乾燥させ、刷り上げ、刷り上がった紙を乾燥機で乾燥させる。刷り上がった紙は、酸化水銀の鉱物などを混合し煮

付録

ポルトガル語・スペイン語・ラテン語の調べ方

1. 基礎知識
キリシタン文献は、ポルトガル語・ラテン語・スペイン語で書かれているのだから、これらの言語を調べなければならない。

Google翻訳のようなオンライン翻訳サービスも、進化しているものの、到着、キリシタン文献の正確な理解に使える状況ではない。例えば、『日葡辞書』序文の最初の一文
Sendo o Vocabulario meyo tam necessario, e importante para aprender qualquer lingua, ha muito tempo que os Padres da Companhia, que estamos em Iapão, desejamos sair com elle impresso para os Padres, e Irmãos que vem de nouo a cultivar (譯書は、どのような言語を学ぶにも、必要はつ重要な手段であるから、かなり前から、日本在住のイエズス会司書の澤田は、新刊に宗教に必要となる前に、それを出版したいものがある。)

は、『譯書 meyo』が必要になる前に、会社を立ち上げた。これは、
とはすぐに分かるが、一応もともとも
大抵の意味は取れる等と置いている。また、
で、『大抵の意味を取ら』ことではない。
ます。現代ポルトガル語、現代スペイン語

以下は、あくまで「それなり」の語彙のニュースが「ながら」で分かり、Cは、以下は読むだけ無難である。
「それなり」という水準は、高校数学が自力では解けなくても、その解答を説きながら、自分で解分が分けてくると、自分で解答の結論にまで到達できるとい何が起きているかの理解はできている。というレベルでは、「それなり」の心得が、ンカ大学など、3週間程度の語学集中コースのも効果的だが、あくまで基礎力をと時間の無駄である。

幸い、スペイン語は良い入門書が豊富にあり、良質の教科書が複数ある。ポルトガル語、ポルトガルのポルトガル語の教科書は、ラテン語の場合は名詞・形容詞・動詞、deponens、及び各前置詞の格支配、もっとも、曲用・活用などの記憶が難しく Whitaker's word (http://archives.nd.edu/whitaker)

仮名字体表

仮名	字音	前期本	後期本	仮名	字音	前期本	後期本	仮名	字音	前期本	後期本
あ	ア	ア	ア	い	イ	イ	イ	う	ウ	ウ	ウ
か	カ	カ	カ	け	ケ	ケ	ケ	こ	コ	コ	コ
さ	サ	サ	サ	せ	セ	セ	セ	し	シ	シ	シ
た	タ	タ	タ	て	テ	テ	テ	ち	チ	チ	チ
な	ナ	ナ	ナ	ね	ネ	ネ	ネ	に	ニ	ニ	ニ
は	ハ	ハ	ハ	へ	ヘ	ヘ	ヘ	ひ	ヒ	ヒ	ヒ
ま	マ	マ	マ	め	メ	メ	メ	み	ミ	ミ	ミ
や	ヤ	ヤ	ヤ	ゆ	ユ	ユ	ユ	よ	ヨ	ヨ	ヨ
ら	ラ	ラ	ラ	れ	レ	レ	レ	ろ	ロ	ロ	ロ
わ	ワ	ワ	ワ	わ	ヰ	ヰ	ヰ	を	ヱ	ヱ	ヱ
ん	ン	ン	ン	ん	ヰ	ヰ	ヰ	を	ヱ	ヱ	ヱ

実践編

第2部 実践編

8. キリシタン版を読んでみる

8.1. 本文・二次資料の参照

演習・講読のレポート作成では課題として本文の一部が割り当てられることが多く、その場合はあらかじめ注釈を付けるべき本文が示される。ここでは『天草版平家物語』の注釈を想定し、どのような資料を参照して注釈作業を進めればよいか案内する。なお、ローマ字本の読解については本書「7.2. 日本語ローマ字本(文語) サントスの御作業」にも具体例を挙げているので、あわせて参照してもらいたい。

まず、参照可能な本文画像や翻刻、索引類を整理することから始める。『天草版平家物語』はキリシタン版のなかで最も研究が活発で研究書の層も厚いが、現時点で本文は国立国語研究所によるカラーのオンライン公開画像 (バレット「難語句解」を含む) が利用できる。全文検索は日本語歴史コーパス (CHJ) が利用できる。その他の本文や注釈に関する資料、研究書については、本書「7.1. 日本語ローマ字本(口語)とCHJの使い方 平家物語」に詳しい紹介がある。

8.2. 本文を読む

8.2.1. 翻刻

ここでは「那須与一が扇を射たこと」の一場面 (p.337の4行目以降) をもとに、ローマ字表記を忠実に転写する翻刻、漢字仮名交じり表記に置き換える翻字、難読箇所や当代語の特徴が現れる箇所への注釈という一連の基礎作業の進め方を示す。

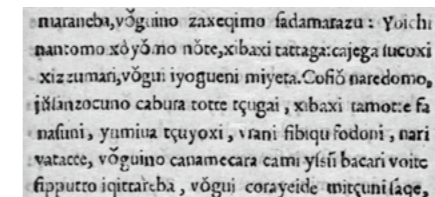


図1 『天草版平家物語』(大英図書館蔵) 本文

- 337-04 Yoichi
- 337-05 nantomo xôyômo nôte, xibaxi tattaga:cajega fucoxi
- 337-06 xizzumari, vôgui iyogueni miyeta. Cofiô naredomo,
- 337-07 jûfanzocuno cabura totte tçugai, xibaxi tamotte fa
- 337-08 nafuni, yumia tçuyoxi, vrani fibiqu fodoni, nari
- 337-09 vatatte, vôguino canamecara cami yfsû bacari voite
- 337-10 fipputto iqittareba,

翻刻は原文のローマ字表記の文字配置のまま転写するのが原則である。本書コラム「キリシ

用語解説 重要な用語を厳選し、本文中で簡潔に説明

カトリック/マカオ (Macau, 澳門) / 口語 (話し言葉) / 漢字音の t 入声 / 整版 / インクナブラ (見本組左上頁参照) / グーテンベルク聖書 / 丁合符号 / 宣教に伴う言語学 (Missionary Linguistics) / キリシタン研究 / 土井忠生 / ペドロ・ゴメス / クリストヴァン・フェレイラ (沢野忠庵) / 南蛮 / recto と verso / キリシタン版 / 異体字 / 定訓 / 四つ仮名 / ジョアン・ロドリゲス / セルナンサーリエ / 判型 / マノエル・アルパレス / ラテン語 / スペイン語 / ポルトガル語 / アレッサンドロ・ヴァリニャーノ / ローマ (Roma) / ヨセフス・スカリゲル / ディエゴ・コリヤード / アセント記号 / イエズス会 / ドミニコ会 / 不干ハビアン / 耶蘇教叢書 / 養方パウロ・洞院ヴィセンテ / ことばの和らげ / ハ行転呼音 / 異音 / 濁音前鼻音 / 対校 / 後藤版 / 定家仮名遣い / 字音仮名遣い / 仮名用字法 (仮名字遣) / ルイス・デ・グラナダ / 吉利支丹抄物 / マノエル・バレット / 出版許可 / ウルガタ訳 / フランシスコ・ザビエル / 大航海時代 / アントニオ・ネプリハ / 開合 / 抄物 / 狂言 / 切支丹物 (芥川) / 新村出 / 文献学